

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



6月定例会 7月臨時会 のあらし

夕涼み会(岩橋保育園)

6月定例会は6月3日から10日間の会期で開催されました。
町長より議案5件、議員より発議案5件が提出され、審議した結果議案5件、発議案2件がそれぞれ原案のとおり承認・可決されました。
一般質問は9名の議員が、2日間にわたり行いました。
また、臨時会が7月9日に招集され、提出された議案はそれぞれ原案のとおり可決され、議会推薦の農業委員会委員も決定しました。

一般会計
補正予算

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例
給付金を支給

・・・P2

プレミアム・アウトレットの来場者が600万人など 行政報告・・・P3

町政を問う 議員9名が一般質問・・・P5~P10

6月定例会
7月臨時会

酒
SHISUI

2つの臨時給付金を支給

一般会計補正予算など

5議案承認・可決



子育て世帯臨時特例給付金・臨時福祉給付金の申請手続き

平成26年6月議会で承認・可決された議案は次のとおりです。

◇専決処分の承認を求めることについて

平成26年3月31日に地方税法等の一部を改正する法律が、公布されたことに伴い、納税者に実害が及ばないようにするため、町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、専決処分を行い制定したことから、議会に報告し、承認を求めらるるものです。

◇町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について

◇町都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、所用の一部改正等を行うものです。

◇一般会計補正予算(第1号)

一般会計

補正の主な内容は、消費税率の引き上げに伴い、所得の低い方や子育て世帯への影響を和らげるため、臨時に給付金を支給する経費、2月の大雪により被害のあった農家に対して、ハウス等の再建費用等を支給するための経費など緊急性を伴うものについての補正で

す。

◇工事請負契約の締結について

ICアクセス道路整備工事(調整池工)その2について、5月22日に7社の参加により制限付一般競争入札を実施した結果、阿部建設(株)が落札し、同社と6,771万6千円で仮契約を行ったため、議会の議決を求めるものです。

報告

◇一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

「役場分庁舎新設計事業」、「子ども・子育て支援事業電算システム構築事業」、「道路改良事業」や災害による道路の復旧事業」等の8事業について、翌年度に繰り越す額が確定したので報告するものです。

◇下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について

「伊篠調整池災害復旧事業」について繰越額を報告するものです。

◇水道事業会計予算繰越計算書について

地方公営企業法第26条第1項及び第2項ただし書きの規定により予算繰越の処理を行ったので、報告するものです。

議員発議によるもの

◇教育委員会制度改革の中止を求める意見書の提出について

◇集団的自衛権行使を容認する憲法解釈改憲を行わないことを求める意見書の提出について

◇義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について

◇国における平成27(2015)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

◇酒々井町管理の赤道の払い下げに反対する意見書の提出について

平成26年度 補正予算額		(単位：千円)	
会計名	補正前	6月補正額	補正後
一般会計	5,863,305	145,895	6,009,200

ちびっこ天国 コミュニティプラザ 施設の有効活用を検討

町長より3件の行政報告がありました。(要旨)

施設の有効的な運営について

酒々井ちびっこ天国は、本年度から3年間セントラルスポーツグループを指定管理者として運営していくこととして、議会で承認を得たところです。施設運営に当たりましては、来場者のニーズに合った運営と施設の魅力を高めることにより増客・増収を図れる施設とするため、一定のリニューアルを行うとともに、指定管理者から町への協力金として、入園料収入から入園者6万人以上の場合3%、5万人以上6万人未満の場合は2%、5万人未満の場合は1%に相当する額を納付してもらうこととしました。

酒々井コミュニティプラザについては、設置後26年が経過し老朽化していることから、高齢化社会に対応した施設改修に加え、観光面でも有効的に活用でき、なおかつ民間の活力を活用し年間の維持管理費の削減を図ることが可能となるよう酒々井

コミュニティプラザ検討委員会を設置し、しすい・ハーブガーデンと一体的に今後の施設の在り方・運営方法を検討していくとともに、引き続きFM(フアシリティマネジメント)の導入により公共施設のマネジメントを進めていきます。

酒々井南部地区の状況について

昨年4月10日に開通した酒々井インターチェンジの通行量は、2月末までの間で約2百8万台、一日当たり約6千4百台の通行がありました。

酒々井プレミアム・アウトレットの来場者(レジ通過者数)は、開業から3月末までの約1年間で当初予想の350万人を大幅に上回る、約609万人が訪れ、外国人客は開業から2月末までで約4万4千人が訪れています。来年の春には約70店舗の増床計画も発表されています。京成・JR酒々井駅利用者は、3月末まで総来場者の約5%の約30万人でした。交通渋滞については、年末・年始で多少渋滞したものの、平

日では交通渋滞は発生していない状況です。

酒々井プレミアム・アウトレット内に設置した酒々井コミュニケーションセンターの来場者は、開業から3月末までの間で8万2千695人の来場者が訪れ、町内への誘客も増加しています。今後も積極的な情報発信に努め、町の活性化につなげていきたいと考えています。

小・中学校の教育環境整備について

町では、平成22年度東日本大震災発災前に小・中学校校舎の耐震補強工事を終了し、平成24年度にエアコンを設置、平成25年度には太陽光発電設備を各学校に整備しました。この三事業が、公立小・中学校すべてにそろって完了しているのは、千葉県下で酒々井町だけです。

本年4月から小・中学校の太陽光発電設備の運用を開始しました。発電量は小・中学校4月合計14,424.52キロワットアワー、5月合計15,210.84キロワットアワーとなっており、各学校の電気消費量の約3割に当たる発電量となります。

また、休校時の余剰電力の売電につきましては、4月合計1,398キロワットアワー、金額にして52,844円、5月合計1,611キロワットアワー、金額にして62,634円でした。これからも、児童・生徒の学習環境の整備につきましては、最優先課題ととらえ一歩ずつ着実に進めてまいります。

酒々井小学校 太陽光発電設備視察

町議会では、6月定例会最終日終了後に酒々井小学校太陽光設備の現地状況を視察しました。



請願の審査結果

請願番号	件名	請願者名	付託委員会	本会議の議決結果	
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 関山 邦宏	教育民生	採択	○
請願第2号	「国における平成27(2015)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 関山 邦宏	教育民生	採択	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認	◎
2	酒々井町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	○
3	酒々井町都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
4	平成26年度酒々井町一般会計補正予算（第1号）	※	原案可決	◎
5	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。（※）は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

発議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者名	本会議の議決結果	
1	教育委員会制度改革の中止を求める意見書の提出について	地福 美枝子議員 他3名	原案否決	×
2	集団的自衛権行使を容認する憲法解釈改憲を行わないことを求める意見書の提出について	地福 美枝子議員 他3名	原案否決	×
3	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決	○
4	国における平成27（2015）年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決	○
5	酒々井町管理の赤道の払い下げに反対する意見書の提出について	齊藤 博議員 他3名	原案否決	×

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。



コミュニティプラザ

議案・賛成討論(要旨)

齊藤博議員

(議案第4号)

コミュニティプラザの管理運営に関する検討委員会の設置と公園愛護活動への支援が拡充されたことを評価し、若干の要望を述べ賛成する。

コミュニティプラザに高齢者向けのライトスポーツの場として整備し、風呂つきの憩いの場ができたらいと思う。幅広く意見を求めて具体案をつくり完成していただきたい。

公園愛護活動の団体増加により、除草後の草を収集する予算

も拡充され、活動の広がりを感じている。ただ、参加者に対する補償制度、対象とされる公園について限定されているので、枠の拡大も検討していただきたい。

地福美枝子議員

(議案第4号)

臨時福祉給付事業は、消費税増税に伴い、低所得者と子育てしている人たちに一万円を給付するという点で、もうう立場であればいただきたいところであるが、消費税が導入されれば、年間一回もらっても焼け石に水。

消費税増税については、反対であるが、4号議案に盛り込まれた低所得者等についての給付については、わずかであっても、いい保育、いい教育をしていただきたいと思いい賛成する。

議案・反対討論(要旨)

竹尾忠雄議員

(議案第2号)

軽自動車は、住民の皆さんの足として使われている中、今回大幅な軽自動車税の引上率であり、弱いものいじめである。国で決めたものではあるが、住民負担に対する引上げに反対する。

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

6月定例会の一般質問は、11日と12日の2日間に9名の議員が教育関係や道路整備など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。

問

JR線の東側地区に新たな避難場所は検討しているのか

答

防災環境の変化等に応じて、検討していく

金塚 学議員

問 酒々井町の人口割合からすると、中央台地区に比べ、駅東側（東酒々井・ふじき野地区）に避難場所の指定が少ないと感じるが新たな避難場所を検討されているのか伺う。

町長 防災アセスメント調査等により、当町に最も影響を与える地震と被害を想定し、避難者数を予測したうえで、現在ある公共施設等を避難場所として指定している。今後、防災環境の変化等に応じて、新たな避難場所を検討することも必要と考えている。

学校教育について

問 太陽光発電装置及び蓄電池が各学校に設置されたが、学校施設に設置された特有の意義や効果から防災を含め「環境教育への活用」を推進するべきと考えるが如何か。

教育長 太陽光発電は、環境教育を推進するうえで、児童生徒が興味関心を持って取り組む最適な教材であると考えている。町教育委員会としては、児童生徒にとって身近な課題として年間計画に位置づけ、教科指導等に活用できるように支援していく。

町の活性化推進について

問 国道296号「墨入口」交差点について東酒々井側道路の右折レーン設置に関し、道路管理者である千葉県に対する設置要望の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 東酒々井から国道296号に出るところに右折レーンが無いため、右折車が交通の支障となっている。今後、交通量の増加によりボトルネックになることが懸念されることから、県に対し改善の要望をしている。



国道296号墨入口交差点

活力あるまちづくりについて

問 京成酒々井駅東口の自転車駐車場における原付50CCから125CCへの拡充について、条例改正を含めた進捗状況について伺う。

まちづくり課長 年間登録台数及び一時利用台数の稼働状況から125CCまでの利用が可能であるため、条例の改正に向け、料金設定や施設の改修内容を検討していく。

問 定住人口を増やすために「空き家情報バンク」を設立しては

答 様々な課題があるので、十分な検討が必要

酒瀬川健一 議員

問 空き家や空き地の活用を図る団体・個人への支援や、改修費用の一部を補助する制度の検討は如何か伺う。また、定住人口の増加を目的として町内に移り住みたい人に紹介する「空き家情報バンク」の設立は如何か。

町長 空き家等は、防犯・防災・景観上の問題を引き起こすことが懸念されている。また、空き家等を有効利用することで地域の活性化を図ることも地域の実情に応じた有効な方策の一つであると考えられる。空き家情報バンクの設置に取り組み自治体では、運営にあたり様々な課題があると言われているので、導入にあたっては十分な検討が必要と考えている。

空き家の適正管理対策と町の対応について

問 所有者への警告や行政指導をこれまで実施したのか、また、昨年調査した住宅・土地統計調査の結果を伺いたい。住民の命と暮らしを守るために、「防災・安全交付金」が創設されたが、この制度を利用して危険な空き家の除去の交付金申請をしようか伺う。

総務課長 所有者への警告等は法的根拠がないことから実施していない。住宅・土地統計調査は、総務省が7月から順次公表を行う予定である。また、「防災・安全交付金」については、個々の危険な空き家の除去等については対象外になるものと認識している。

空き家等の適正な管理に関する条例について

問 生活環境の保全と防災・防犯のまちづくり推進に向け「空き家等適正管理条例」を制定する計画はあるのか。また、地域別に必要な施設を定めて、将来のまちづくりに必要と認められる空き家・空き地を買取り、町の資産として保有することは如何か考えを伺う。

副町長 条例の制定については、国会議員で構成する議員連盟が「空き家対策の推進に関する特別措置法案」をまとめ、国会への提出を目指していることから、その状況を注視していきたい。
まちづくり課長 空き家は個人の財産であり、所有者の適正な管理が基本となるので、町で買い取ることは考えていない。

問 酒々井小学校の法面復旧工事の開始を

答 早々に調査設計を発注する

那須 光男 議員

問 昨年の台風の豪雨によって崩壊した酒々井小学校の法面は、暫定的な工事をしただけで、本格的な復旧工事はいつになったら着手するのか伺う。6月5日から梅雨入りし、8日には一日の降水量90ミリ、一時間の最大降水量37・5ミリの激しい雨を早くも記録している。2〜3ヶ月後には台風シーズンも迎える。酒々井小学校の校庭の雨水はU字溝に流れ出るが、U字溝に集められた雨水の逃げ場がないのが現状である。逃げ場を失った雨水がU字溝の下がっている場所、前回崩落した場所にあふれ出したと私は見ている。町民の安全と財産を守るために、本格的な復旧工事を一日も早く着手すること

をこの議会でも重ねて要望する。
こども課長 酒々井小学校の法面崩落の復旧工事については、土留めを設置し、その点検・管理を行っている。復旧に向け早々に調査設計を発注する。

小型家電等の回収実施時期について

問 3月議会で私から要望した小型家電・小型金属類の無料回収について、町長から前向きな答弁があった。その

後の検討結果から、いつごろから実施できるのか、その目途を伺う。

副町長 周辺では、佐倉市だけが4月から実施している。実施方法については、以前は不燃物を毎週木曜日に回収していたが、それを第1・3・5週の木曜日に不燃物、第2・4週の木曜日に小型家電を回収するようにした。ただし、小型家電のうち、個人情報を記録できるビデオカメラやUSBメモリ等は回収拠点まで持ってきてもらい、更に携帯電話やパソコン等のレアメタルを回収できるものは窓口まで持ってきてもらっている。このように細かく分類し、しかも回収窓口も違う。これだけの負担を町民に掛けることはどうかとの議論もあるので、実施時期については慎重な判断が必要と考えているので、明言は避けさせてもらう。



ごみ収集時の様子

問 乳児のおむつ購入助成の実施を

答 他の自治体の状況を見て検討していきたい

平澤 昭敏 議員

問 少子化対策、子育て支援の一環として経済的負担の軽減を図るため、全国的にも少ない乳児のおむつ購入助成を実施できないか伺う。

こども課長 いくつかの自治体で実施しているが、方法として2万円を上限に支給したり、おむつに限らず、ミルクや哺乳瓶などの購入に使えるクーポン券を発行しているところもあるのですが、まずは情報を収集して検討していきたい。



防災手帳について

問 自助、共助の減災力向上に取り組む、町民一人一人の生き抜く力を高めるため防災手帳の全戸配布を提案するが、町の考えを伺う。

副町長 災害による被害を最小限に抑えるための、減災は、自助、共助、公助の役割分担と相互の連携のもと、町民が主体となって取り組んでいくことが必要と認識している。また、防災意識の啓発に向け、災害に関する情報を事前に提供していくことは有効な手段の一つと考えられることから、今後、



出産・子育てなどの学習を行う「マタニティ・ママパクラス」

防災手帳を含め、その手法について検討していきたい。

産後ケアについて

問 出産後、精神的に不安定になる母親に産後ケアを実施できないか伺う。

町長 町では、安心して出産・育児が行えるよう各種の支援事業を行っているが、家事を手伝う産後ヘルパーや母子のショートステイについては、出産、育児の支援施策の充実を図るうえで、検討課題と考えている。

問 上岩橋にある産業廃棄物中間処理施設への町の対応は

答 県が立入検査した際、町も同行し状況を確認している

齊藤 博 議員

問 施設の操業開始以来、予想外の悪臭や粉じんの飛来が発生し、近隣住民等の苦情、不満が高まっている。平成24年に悪臭の原因となった「側溝等の堆積汚泥」等の搬入は、法的に規制できないのか伺う。また、「定期的な場内外の臭気チェック」等の事業者による対策について、町は実施状況を確認したのか併せて伺う。

経済環境課長 当該施設は県の許可を受けている中間処理施設であり、搬入できる汚泥は、環境基準に適合したものであれば受け入れ可能であり、汚泥の種類は、企業の考え方によるものと思われる。また、平成24年8月に県が立入検査を実施した際、町も同行し、県から事業者に対して臭気対策の指導があり、その後、事業者から改善報告書が提出された。改善報告書の確認を10月に行い、改善状況の確認をしている。平成25年5月にはオゾン水の場内散布による臭気対策も確認した。

住民協働について

問 住民協働の推進には、参加できる具体的な活動環境づくりが伴わなければ

ならない。活動中の事故等による怪我、第三者への補償制度は整備されているのか。また、災害時の安否確認や町道の除雪等が隣組単位で実施されているが、保険の対象にすべきと考えるが如何か。

住民協働課長 自治会活動については、町が保険に加入しているが、各自治会等より予め行事概要と参加者を記名し、町が把握している場合が適用となる。地域住民が主体となって実施するものについては、団体自ら保険に加入するようお願いしている。

中川の浚渫について

問 3年前、390名を超える請願が採択され、一部が実施されたが、その後の事業の継続はなく、今や元の木阿弥状態に戻ってしまった。請願の重さを再認識して、年次計画的に中川をきれいにしたいと考えるが如何か。

上下水道課長 平成24年度に浚渫ではなく、コンクリート塊や樹木、堆積が著しい箇所の一部土砂撤去を実施した。今後は状況を観察し、必要に応じて土砂撤去を行っていきたい。

問 事業進出の誘導は固定資産税の軽減で

答 現在、検討している

川島 邦彦 議員

問 近年、個人町民税は前年比で数千万円の減少が続いており、高齢化で減少傾向は止まらないのではないかと。そこで税収の安定確保のため、IC等そのポテンシャルを活かし法人町民税で下支えすべきとの認識から伺う。

① アウトレット等による税収効果を伺う。

② 区画整理事業地内におけるアウトレット以外の事業進出の動向を伺う。

③ IC周辺道路沿線の事業進出の動向を伺う。

④ 事業進出が進まない場合、固定資産税の一定期間軽減などで誘致する考えはないか。

⑤ 駅・アウトレット間の路線バス利用実績を伺う。バス利用者は町外の方と捉え、特産物販売所・飲食施設等消費に連動する駅前整備が望まれる。また町の玄関口の利便性向上から、停留所の屋根やベンチの設置あるいはレンタサイクル等で町内を回遊できるなどの整備が必要ではないか。

⑥ 一方、幼稚園・保育園の充実や子育て支援による就労世代の定住で個人

町民税を確保するなど、町税の安定確保のため多角的な検討を要望する。

税務住民課長 ① 平成25年度実績で

法人町民税が約3400万円、平成26年度では、固定資産税・都市計画税で1億円程度の増収を見込んでいる。

副町長 ② 7社から引き合いがあり、ガソリンスタンドと中古車販売の2社が契約した。

まちづくり課長 ③ 問い合わせは数件あったが、相談等は1件もない。

経済環境課長 ④ 現在検討している。

まちづくり課長 ⑤ バス利用者は、平成26年3月末までの総乗場者の約5%にあたる約30万人と聞いている。また、駅前広場の整備については、バス利用者も多いことから停留所の上屋の整備などを事業者、関係機関と協議していきたい。



JR酒々井駅前広場

問 酒々井小学校のプールが老朽化している

答 委員会を発足し、検討していきたい

江澤 眞一 議員

問 ① 昭和45年に設置した酒々井小学校のプールについて、第5次総合計画前期基本計画において老朽化のため「建設の必要がある」とあるが、今年度の取り組みについて伺う。

② 運動会の実施時期を大室台小学校のように、5月に行うことができないのか伺う。

こども課長

① プール

について、いろいろな角度から検討するための委員会を発足し、検討していきたい。



設置から40年以上経過している酒々井小学校プール

学校教育課長 ② 酒々井小学校では、運動会を9月に実施しているが、5月下旬に実施する場合、4月当初から行う「金管練習」「陸上競技大会」「わんぱく相撲」の3つを併行して指導しているため、児童の体調管理や年度当初の学級づくりの取り組み等を考えると春への実施時期の見直しは難しいのが

実情である。なお、暑さ対策としては、児童席にテントの設置や、水分補給をするために水筒を持参させている。

酒々井ブランドについて

問 酒々井ブランドの昨年度の実績について伺う。また、今年度の取り組みについても併せて伺う。

住民協働課長 昨年までに「ゆずサイダー」「酒粕カレー」「力味噌」等が製品化され、酒々井まがり家や県内の道の駅等で販売されている。また、町内商

工業者から応募・認定された18点の酒々井町推奨品等の商標を守るため特許庁に対し出願し、本年3月に商標登録証が発行されている。一方、町内飲食店のグルメ紹介マップを作成・発行している。今年度も町のイメージアップと認知度を向上させるこれらの取り組みを継続しながら、酒々井ブランド事業を続けていきたい。



酒々井ブランド商品

問 一時避難所となる公園にトイレの設置を

答 臭気や治安上の問題から整備は行っていない

地福美枝子 議員

問 ① 一時避難所ともなっている公園にトイレの設置や花壇、背もたれ付きのベンチなど、住民が憩える公園の整備が必要と考えるが町の考えを伺う。

② J R 酒々井駅や京成酒々井駅は、日頃町民が利用する町の表玄関であり、アウトレットへのバスを待つ人もいます。しかし、町の玄関である駅前広場は雑草や木の根っこで歩道が盛り上がり、きれいな広場とはいえない。定期的な保守点検を行っても、このような状況が続いている。以前にも同様の質問をしたが、今後の整備計画を伺う。また、予算を増額すべきと思うが如何か。

まちづくり課長 ① 街区公園のトイレ整備については、住宅地に近いため臭気や治安上の問題等から行っていない。ベンチについては、背もたれ式への更新等を検討していく。花壇については、公園愛護団体が維持管理等を行って頂いているが、住民との協働のもと花を植えることで、美観により憩いの場となることから改修を進めていく。

② 駅前広場の除草作業等は年2回実施しており、また、ボランティア団体

による花植え等を行って頂いている。しかしながら、ベンチ等の老朽化や路面に段差が発生し、美観を損ねているので、改修し、きれいな駅前広場の整備に努めるとともに、バス利用者の利便性の向上も検討していく。

未婚の一人親への寡婦控除について
問 税法上の寡婦には控除措置があるが、婚姻歴のない未婚の一人親には控除措置がなく、経済的に大きな差がある。みなし適用をする市町村が増えているが、当町も適用し、援助すべきと思うが如何か。

町長 未婚の一人親について、実態を調べてみたい。

平和問題について
問 憲法9条を解釈変更等で、今、集団的自衛権行使容認の動きが活発になっている。町民の安全を守るべき町長は、どのように考えているのか見解を伺う。

町長 首長として憲法で保障されている地方自治の本旨に基づき、住民福祉の向上を第一に考え、行政運営に専念していく。

問 大室台小学校のグラウンド修復費用の負担は、町、土地所有者のどちらか

答 土地所有者の負担となる

竹尾 忠雄 議員

問 昨年の台風26号で大室台小学校に隣接する土砂が崩落し、グラウンドの一部が使用できない状況にある。今議会に140万円の補正予算が計上されているが、町はこれまで「土地所有者の負担」との考えであったが、費用負担の基本的な考えについて伺う。また、土地所有者は、「個人」「法人」のどちらか併せて伺う。

こども課長 基本的には土地所有者の負担となる。土地所有者は復旧について方法を検討していると聞いている。なお、土地所有者は法人である。

道路問題について
問 ① 柏木地先の県道宗吾酒々井線は台風26号で崩落し、いまだに復旧工事がなされていないが、工事は年度内に終わるのか伺う。

② 柏木地先にある旧道路用地（現在は廃道）は車道まで竹や雑草が覆いかぶさっている。歩行者や車の安全のために適切な維持管理が必要であるが、県の対応について伺う。

③ 墨地先にある古沢橋の先は県が歩道用地として10年前に買収済みである

が、現在は草が繁茂している。県は文化財調査があるから工事が出来ないとのことだが、一日も早く草刈りを行い、歩けるようにするべきである。町は県に要求すべきと思うが見解を伺う。

まちづくり課長 ① 復旧工事に着手するには、用地確保が必要となるため、用地が取得出来次第、復旧工事に着手すると聞いている。

② 道路用地内の樹木等であれば道路管理者が伐採等を行い、道路用地外である場合は、土地所有者に伐採等をお願いすると県から聞いている。

③ 歩道は一定区間を連続して整備しなないと効果が発揮されないため、工事に着手するには用地取得を進める必要がある。町としても早期に歩道が整備されるよう県と連携を図りながら事業の推進に協力していく。



東関東自動車道をまたぐ古沢橋

その他の質問

金塚 学 議員

- ・成田空港近接地域としての活性化推進について

那須 光男 議員

- ・太陽光発電について
- ・分庁舎の建設について

平澤 昭敏 議員

- ・道路整備について

齊藤 博 議員

- ・高齢者福祉について

江澤 眞一 議員

- ・酒々井町地域防災計画について

竹尾 忠雄 議員

- ・中川排水路の維持管理について
- ・防災訓練について

千葉県町村 議会議長会表彰

5月26日に開催された千葉県町村議会議長会定例会において、同会の表彰規定に基づき、小早稲議長が町議会議員として18年以上在職し、地方自治に特に功労があった者として、特別自治功労表彰を受けられました。

また、越川議員、江澤議員が町議会議員として11年以上在職し、地方自治に功労があった者として、自治功労表彰を受けられました。



左から越川議員、小早稲議長、江澤議員

篠田 誠議員が辞職



篠田誠議員から議員の辞職願が提出され、5月27日付けで篠田議員の辞職が許可されました。

議会だより編集特別委員会 が設置されました

「議会だよりしすい」の編集・発行にあたり、6名の委員をもって構成する議会だより編集特別委員会が6月11日に設置されました。

また、7月3日(木)には、千葉県町村議会議長会主催による、市町村議会広報研究会に出席し、議会の基本と編集技術等の講義を受けました。



市町村議会広報研究会の様子



講義を受ける議会だより編集特別委員

委員の構成

- ◎委員長 江澤 眞一
- 副委員長 酒瀬川 健一
- 委員 金塚 学
- 委員 御園生 浩士
- 委員 平澤 昭敏
- 委員 地福美 枝子

千葉県町村議会議員研修会に参加

8月1日(金)、オークラ千葉ホテルにおいて、千葉県町村議会議長会主催による、千葉県町村議会議員研修会が開催されました。

県内の多数の町村の議員が一同に集まり研修が行われ、法政大学教授小峰隆夫氏より『人口減少下の日本経済と地域』、慶應義塾大学教授片山善博氏より『地方議会への期待と議会改革』についての講演がありました。



法政大学 教授 小峰 隆夫氏



講師の話に熱心に耳を傾ける議員



研修会時の様子



慶應義塾大学 教授 片山善博氏

分庁舎建設事業 5569万6千円を追加補正

平成26年7月臨時議会で可決された議案は次のとおりです。

◇酒々井町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

酒々井南部地区土地区画整理事業の換地処分に伴い、酒々井南部地区の地区計画を条例に加えるものです。

◇一般会計補正予算(第2号)

補正の主な内容は、分庁舎建設事業に伴い、建築資材単価や労務単価の上昇等による工事費の増額です。

平成26年度 補正予算額 (単位：千円)

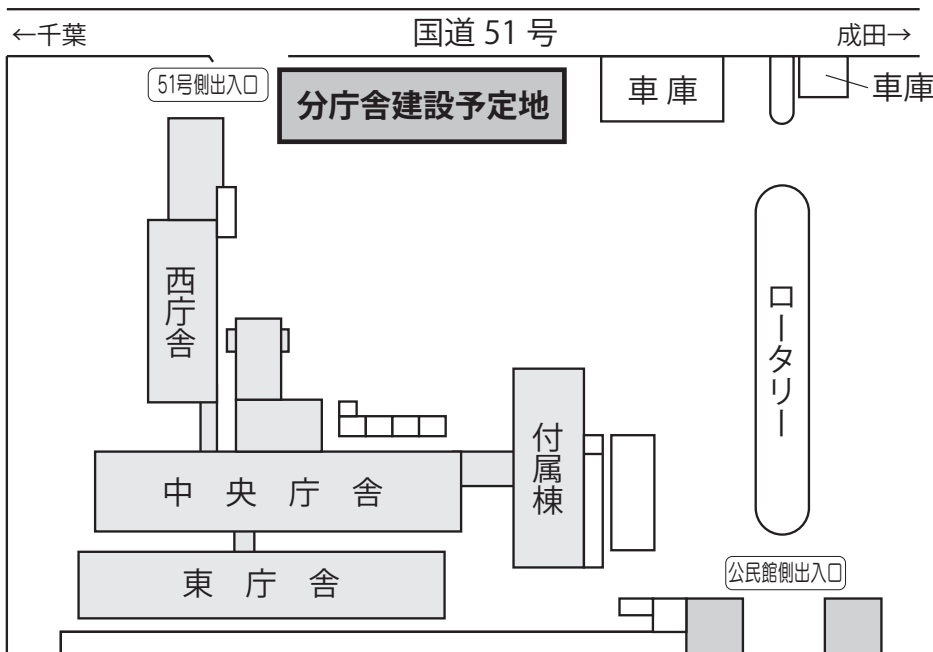
会計名	補正前	7月補正額	補正後
一般会計	6,009,200	55,696	6,064,896



議案と議決結果 (町長提出のもの)

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	酒々井町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	なし	原案可決 ◎
2	平成26年度酒々井町一般会計補正予算(第2号)	なし	原案可決 ◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。



農業委員会委員 の推薦



木我 恭子氏
(墨)



宮田 早苗氏
(伊篠)

農業委員会の議会推薦委員に次の方を推薦しました。

9月定例会 のお知らせ

次の定例会は9月上旬に開会する予定となっております。

会期の概要は、8月26日の議会運営委員会で決まります。

会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。

皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171
(内線251、252)